

とびっくす TOPICS ~in海外~

2009.6.22 外二-014
国際業務室 内線3704.3715
011-233-1093

「GO!GO!ファイターズ!」

北海道日本ハムファイターズは、パリーグ首位を快走しているそうですね。

私は、3日遅れの道新でファイターズの活躍を知ることができます。

さて、なぜ「瀋陽とびっくす」で「ファイターズ」なのか…?

先日、ある雑貨店に行ったときの話。壁一面にディスプレイしてある帽子の中に、見覚えのあるロゴマーク…?

なんと日本ハムファイターズの野球帽ではないか!

早速手にとってみると、「MADE IN CHINA」のミズノ製オフィシャルグッズ(レプリカ)でした。

「さて、お値段は??」と店員に尋ねてみると「18元だよ」との返事。18元といったら、日本円で270円くらいです。

日本で買ったなら10倍以上の2940円ですから、思わず「なまら安い!」と叫んでしまいました。「2940円-270円=2670円」。

この「2670円」はどこに流れていくのか?

皆さんで考えてみてください!!?



瀋陽事務所：正司 毅

「日本語スピーチコンテスト」

去る6月10日、当地にて日本語スピーチコンテストが開かれました。

これは「北海道とサハリン州との友好・経済協力に関する提携」に基づいて、サハリン州における日本語学習者の学習意欲を向上させるとともに、北海道への関心を高め、両地域の交流を担う人材の育成を図ることを目的として、北海道庁とサハリン州行政府との共催により、2000年より開催されているものです。このスピーチコンテストの上位入賞者は、更に日本外務省・ロシア政府の共催による極東・シベリア大会、全ロシア・CIS大会への出場資格へもつながるため、レベルはなかなかのものです。

当地はサハリンプロジェクトのお膝元で、多くの外資系企業が進出しており、最近では英語・韓国語・中国語の学習熱が高まっているようですが、日本・日本語に対する関心は、まだまだ根強い人気があるようです。

ユジノサハリンスク駐在員事務所：樋口 充



「中国の銀行」

私が通帳を作りに行った時に窓口で感じた日本との違いについてレポートします。

窓口が全面プラスチックの透明な板で完全に覆われており、行員の身の安全が図られている事も驚きましたが、一番ユニークで日本でも参考になりそうだと感じたのは、接客の最後にその行員の対応を、満足・平均・不満足の3段階で評価する為、手元のボタンを押すよう求められるのです。

私は、「通帳を作ってくれて有難う」の思いを含め、「満足」のボタンを押すと、この日一番の笑顔を頂きました。

それまでは、結構無愛想だったのですが、よく見るとカウンターの右の方には、行員の顔写真、名前を書いた

プレートがあり、更にはその行員のサービスレベル(8段階の星で評価)も出ていました。おそらく、このサービスレベルの評価が上がるには、内部の試験や評価の他に上記の顧客からの評価も一部占めているのではないかと考えられます。当行においてもCS向上のヒントになるのでは?と思いましたが、皆さんはどう思われるでしょうか?



北京事務所：中島 康成